

主要産地における令和5年度水稲の生育状況等について 第6報 (令和5年6月30日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和5年6月30日)

道県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象庁等公表資料の抜粋)	令和5年度の品種構成の概況																																																																							
	区分	育苗・田植進捗状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等																																																																									
北海道		【生育状況(6月15日現在)】 (全道) 草丈や葉数、茎数は平年並。生育は平年並に進んでいる。(北海道農政局 6月21日付) (空知) 生育は平年並であり、分けつる発生も平年並である。(空知総合振興局 6月21日付) (石狩) 6月上旬の日照不足により、分けつるの発生が顕微である。(石狩振興局 6月21日付) (後志) 遅延は若干あり。(後志総合振興局 6月21日付) (胆振) 6月上旬の日照不足により生育はやや遅れたが、全体的な生育は平年並。(胆振総合振興局 6月21日付) (日高) 生育は概ね平年並に推移している。(日高振興局 6月21日付) (渡島) 生育は平年並に進んでいる。(渡島総合振興局 6月21日付) (釧路) 生育は概ね平年並に推移。(釧路振興局 6月21日付) (上川) 生育は平年並である。(上川総合振興局 6月21日付) (網走) 生育は平年並に進んでいる。(網走振興局 6月21日付) (オホーツク) 生育は平年並である。(オホーツク総合振興局 6月21日付)	【全国】 エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い。(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 7月1日~7月30日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台) 北海道太平洋側は7月5日頃からかなりの高温。 (気象庁札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主産品種に大きな変化はみられない。 (農林水産省 令和5年6月15日) (出典資料は以下同じ)																																																																							
	青森	【6月20日現在】 ・「つがるロマン」は草丈が38.4cmで平年より2.0cm長く、株当たり21.8本で4.8本多く、葉数は7.8葉で0.1葉多かった。 ・「青天の霹靂」は草丈が42.8cmで3.4cm長く、株当たり19.0本で3.2本多く、葉数は7.1葉で平年並みであった。 ・「まっしろ」は草丈が44.3cmで2.4cm長く、株当たり20.9本で3.0本多く、葉数は7.6葉で0.2葉多かった。 ・「はれわたり」は草丈が41.4cm、株当たり20.3本、葉数は7.4葉であった。 (地産) 青森県産業技術センター農林総合研究所 6月20日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日~7月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は7月5日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31~7:00)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「まっしろ」及び「つがるロマン」を中心とする品種構成となっている。 (農林水産省 令和5年6月15日)																																																																							
岩手	【6月26日現在】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予察における6月26日現在の生育(県平均)は、草丈が46.3cm(平年並+8.6cm)、葉数は446本/m ² (平年並+105%)、葉数は8.5葉(平年並+0.3葉)、葉色値は42.5(平年並+1.8)と、いずれも平年を上回っている。 (岩手県農業普及技術課 6月27日付)	表2 【品種別】 6月26日現在の生育(農業改良普及センター生育診断予察値) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品種名</th> <th colspan="2">草丈</th> <th colspan="2">葉数</th> <th colspan="2">葉色値</th> <th colspan="2">葉色値(10000/100)</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>平年</th> <th>本年</th> <th>平年</th> <th>本年</th> <th>平年</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つがるロマン</td> <td>40.9</td> <td>38.4</td> <td>20.3</td> <td>20.8</td> <td>450</td> <td>450</td> <td>8.7</td> <td>8.5</td> <td>42.3</td> <td>41.5</td> </tr> <tr> <td>青天の霹靂</td> <td>42.8</td> <td>39.4</td> <td>19.0</td> <td>19.8</td> <td>419</td> <td>419</td> <td>8.2</td> <td>8.1</td> <td>42.3</td> <td>42.2</td> </tr> <tr> <td>まっしろ</td> <td>44.3</td> <td>41.9</td> <td>20.9</td> <td>19.6</td> <td>446</td> <td>416</td> <td>8.6</td> <td>8.4</td> <td>43.9</td> <td>43.0</td> </tr> <tr> <td>はれわたり</td> <td>41.4</td> <td>39.0</td> <td>20.3</td> <td>19.0</td> <td>433</td> <td>433</td> <td>7.9</td> <td>7.7</td> <td>40.6</td> <td>39.9</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>46.3</td> <td>37.7</td> <td>446</td> <td>401</td> <td>427</td> <td>401</td> <td>8.4</td> <td>8.0</td> <td>44.6</td> <td>43.8</td> </tr> </tbody> </table> <small>※ 生育診断予察値、平年並(平年並+8.6cm)の生育状況を示している。 ※ 葉色値(10000/100)は葉色値を示している。</small> 【向こう1か月の天候の見通し 7月1日~7月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は7月5日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31~7:00)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	品種名	草丈		葉数		葉色値		葉色値(10000/100)		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	つがるロマン	40.9	38.4	20.3	20.8	450	450	8.7	8.5	42.3	41.5	青天の霹靂	42.8	39.4	19.0	19.8	419	419	8.2	8.1	42.3	42.2	まっしろ	44.3	41.9	20.9	19.6	446	416	8.6	8.4	43.9	43.0	はれわたり	41.4	39.0	20.3	19.0	433	433	7.9	7.7	40.6	39.9	県平均	46.3	37.7	446	401	427	401	8.4	8.0	44.6	43.8	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「龍河のしくり」が、耐病性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
	品種名	草丈		葉数		葉色値		葉色値(10000/100)																																																																			
本年		平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年																																																																			
つがるロマン	40.9	38.4	20.3	20.8	450	450	8.7	8.5	42.3	41.5																																																																	
青天の霹靂	42.8	39.4	19.0	19.8	419	419	8.2	8.1	42.3	42.2																																																																	
まっしろ	44.3	41.9	20.9	19.6	446	416	8.6	8.4	43.9	43.0																																																																	
はれわたり	41.4	39.0	20.3	19.0	433	433	7.9	7.7	40.6	39.9																																																																	
県平均	46.3	37.7	446	401	427	401	8.4	8.0	44.6	43.8																																																																	
宮城	【6月20日現在】 ・吉川農業試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は41.9cm(平年比123%)、1㎡当たり245本(平年比81%)、葉数は18.3枚(平年並+0.2枚)となっており、平年と比較して葉数はやや少なく、葉数は概ね平年並である。(宮城県 6月21日付) (亶理) 葉数はほぼ平年並、葉色は平年を上回っているが、田植後の植え込みが影響し、1㎡当たり葉数が平年値を下回っている。(宮城県亶理農業改良普及センター 6月21日付) (栗原) 「ひとめぼれ」は、草丈が平年を上回っているが、葉数が平年と比べて少なくなっている。葉数は平年並からやや少なく、生育は平年と比べて遅れている。(宮城県栗原農業改良普及センター 6月21日付) (美里) 草丈・前倒からの伸び幅が大きく高め。葉数・平年より少ない傾向が多く特に「だて正夢」「金のいぶき」で少ない。 葉数・平年より少ないが「だて正夢」を除き遅い傾向が多い。(宮城県美里農業改良普及センター 6月20日付) (登米) 「ひとめぼれ」の草丈、葉色は平年を上回っており、分けつるも概ね平年並に推移している。「だて正夢」は、草丈、葉数は平年を下回っているが、葉色は概ね平年並に推移している。「金のいぶき」の草丈、葉数、葉色は過去が年平均を上回っている。 (石巻) 生育は回復傾向、草丈は長く、葉色は濃い。(宮城県石巻農業改良普及センター 6月21日付) (大河原) 平年と比べて、草丈は長く、葉数はやや多い。葉色は濃い。移植が早いほど有効葉数が確保されている傾向。 (宮城県大河原農業改良普及センター 6月21日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日~7月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は7月5日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31~7:00)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。																																																																								
	秋田	(仙北) 初期生育は遅かったが、6月上旬の高温で生育が回復している。(6月23日付) (山本) 6月23日現在では、田植後早かった時点で目標葉数が確保できている。今年は、田植後に低温や強風など厳しい気象条件となったが、生育は回復傾向にある。(6月23日付) (北秋田) 6月9日の時点で葉数が平年より少ない状態だったが、その後の好天により回復基調。(6月22日付) (秋田県農政局政策課)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日~7月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は7月5日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31~7:00)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。																																																																							
山形	・本年の水稲の生育は、移植後の強風や5月上旬の日照時間が少なく推移した影響等で葉数がやや少ない傾向にあった。その後生育は回復してきているが、生育量が少ない品種構成が懸念される。 (山形県農林水産部 6月23日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日~7月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は7月5日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「響き丸」は増加傾向にある。																																																																								
	福島	【6月6日現在】水稲作柄解析試験における生育状況(平年比・差) ・「コシヒカリ」(郡山 5月15日移植) 草丈: 94%、葉数: 90%、葉齢: -0.2 (会津 5月18日移植) 草丈: 115%、葉数: 96%、葉齢: 0.1 (浜 5月10日移植) 草丈: 99%、葉数: 96%、葉齢: -0.1 ・「ひとめぼれ」(郡山 5月15日移植) 草丈: 95%、葉数: 98%、葉齢: -0.3 (会津 5月18日移植) 草丈: 114%、葉数: 76%、葉齢: 0.1 (浜 5月10日移植) 草丈: 95%、葉数: 103%、葉齢: 0.2 (福島県農業総合センター 6月9日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日~7月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は7月5日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「つや姫」が増加している。飼料米への転換が増えていることから比率はやや低下しているものの、まだ増加が見込まれる。																																																																							
茨城	【6月20日現在、水戸市】主産品種からみた生育遅延 (5月1日移植) ・「あきたこまち」4日早い、「ふくまるS.L」3日早い、「コシヒカリ」3日早い。 (5月10日移植) 「コシヒカリ」3日早い。 (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月21日付) (生育) 【6月27日現在、龍ヶ崎市】対平年遅延 (4月27日移植) ・「あきたこまち」1日遅い、「ふくまるS.L」1日早い、「コシヒカリ」1日遅い。 (5月9日移植) 「コシヒカリ」1日遅い (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月28日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日~7月30日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は、平年並に近い見込み。 (気象庁東京管区気象台) 向こう1か月(8:31~7:00)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成である。近年、多収米への作付け移行が進んでいる。																																																																								
	栃木	【生育概況】(6月22日調査) ・草丈は全作型、全品種とも前年より長い。 ・「白鳥平シシカ」の葉数は概ね前年並に近いものの前年並、葉色はやや濃い。 ・「早稲とちぎの星」の葉数は前年並に近いがそのほかで少ない。葉色はやや濃い。 ・葉齢から推定した稲の生育は前年より3~4日程度遅れている。 (生育) 【コシヒカリ】前年比 草丈125% 葉数100% 葉齢+0.6 葉色-0.3 【とちぎの星】前年比 草丈121% 葉数88% 葉齢+0.6 葉色-0.3 【普通稲とちぎの星】草丈108% 葉数85% 葉齢+1.1 葉色-0.8 (栃木県農政経営技術課 6月23日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日~7月30日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月~9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は、平年並に近い見込み。 (気象庁東京管区気象台) 向こう1か月(8:31~7:00)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。																																																																							

千葉	(生育状況等) ・4月20日に移植した「コシヒカリ」は6月22日頃(平年より1日早い)、「粒すけ」は6月22日頃(平年並)に幼穂形成期を迎えている。 ・また、5月1日に移植した「コシヒカリ」は6月29日頃(平年より1日遅い)から幼穂形成期となる。 (千葉県 6月28日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)	・「コシヒカリ」 「みずかがみ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新種「あきつゆ」の本格栽培が開始
新潟	(新 潟) (6月29日現在 指標値との比・差) 「コシヒカリ」 草丈 98%、茎数 104%、葉数 -0.5葉 「こしいぶき」 草丈 104%、茎数 91%、葉数 -0.1葉 「新 之 助」 草丈 105%、茎数 86%、葉数 -0.3葉 (新潟農業普及指導センター 6月29日付) (生 育) (巻) 【出穂期予想(平年より2～3日早い見込み)】「コシヒカリ」8月2日、「こしいぶき」7月23日。 (巻農業普及指導センター 6月29日付) (三 条) 出穂期は早生で平年から1～2日早まる見込み。(三条農業普及指導センター 6月29日付) (長 岡) 「こしいぶき」の幼穂形成期は6月29日(平年より1日早い)と推定される。(長岡農業普及指導センター 6月29日付) (魚 沼) 「コシヒカリ」(6月29日現在) 草丈:やや長い、茎数:多い、葉数:並。(魚沼農業普及指導センター 6月29日付) (南魚沼) 「コシヒカリ」(6月29日現在) 草丈:並、茎数:やや少、葉数:並(南魚沼農業普及指導センター 6月29日付) (糸魚川) 全体的に生育は順調に推移している。現時点での予想では、出穂期は平年に比べ1日程度早まる見込み。 (糸魚川農業普及指導センター 6月29日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台) 北陸地方は6月25日頃からかなりの高温。 (新潟地方気象台)	・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収水率の高い「ゆんきんすけ」、「つきあかり」及び「あきつゆ」の割合が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩熟種)の作付拡大を推奨している。
富山	【6月27日現在】(生育状況) ・「コシヒカリ」平年に比べ、草丈、葉数は、茎数はやや少なくなっている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉数は、茎数はやや少なくなっている。 今後、平年並の気温で推移した場合、幼穂形成期、出穂期は、それぞれ平年並の7月11日頃、8月1日頃と見込まれる。 ・「てんたかく」平年に比べ、草丈、葉数は、茎数は少なく、葉齢は0.2葉小さくなっている。 幼穂形成期は、平年に比べ1日早い6月24日となった。 今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は平年に比べ1日早い7月15日頃と見込まれる。 ・「てんこもり」平年に比べ、草丈はやや短く、茎数、葉数は、葉齢は0.3葉遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉数は、茎数は並となっている。今後、平年並の気温で推移した場合、幼穂形成期、出穂期は、それぞれ平年に比べ2日遅い7月14日頃、8月5日頃と見込まれる。 ・「富富富」 近年に比べ、草丈、葉数は、茎数はやや少く、葉齢は0.5葉遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、葉数は、茎数は並となっている。今後、平年並の気温で推移した場合、幼穂形成期、出穂期は、それぞれ平年に比べ2日遅い7月15日頃、8月6日頃と見込まれる。 (富山県 6月27日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台) 北陸地方は6月25日頃からかなりの高温。 (新潟地方気象台)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高産性種である「あきつゆ」が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」のトップブランドに位置づけられている「富富富」が増加傾向にある。
石川	【6月8日現在】 (草丈) ・「コシヒカリ」: 平年比85～134% (県平均107%、加賀:104%、能登:110%) 平年並～長く、前年に比べてやや長い。 ・「ゆめみづほ」: 平年比80～121% (県平均109%、加賀:105%、能登:112%) 平年並～長く、前年に比べて長い。 ・「ひやくまん殿」: 近年比89%～129% (県平均108%、加賀:112%、能登:103%) 近年並～長く、前年に比べてやや長い。 (茎数) ・「コシヒカリ」: 平年比76～159% (県平均104% 加賀:105%、能登101%) 平年及び前年並。 ・「ゆめみづほ」: 平年比84～168% (県平均111%、加賀:104%、能登129%) 平年及び前年に比べて並～多い。 ・「ひやくまん殿」: 近年比72～189% (県平均114%、加賀:105%、能登129%) 近年及び前年に比べて並～多い。 (葉齢) ・葉齢差は、「コシヒカリ」は平年及び前年並。「ゆめみづほ」も平年及び前年並。「ひやくまん殿」は近年及び前年と比べ2日程度早い。 (石川県農林総合研究センター農業試験場 6月9日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台) 北陸地方は6月25日頃からかなりの高温。 (新潟地方気象台)	・「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「ひやくまん殿」が増加傾向にある。
福井	【6月21日調査】 ・水稲は茎数が増加し、平年の茎数に近づいてきたが、やや成長しているところがある。 ・「ハナエチゼン」は、幼穂形成期になっている。 (福井県農業レベラアップ委員会技術普及部会 6月26日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台) 北陸地方は6月25日頃からかなりの高温。 (新潟地方気象台)	・「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。
長野	・6月17日現在のDVI(生育指数)による水稲生育予測では、「コシヒカリ」で1日程度早く、「あきたこまち」で平年より2日程度遅いと予測している。 ・6月15日現在の安曇野市の定点圃場の調査では、草丈は平年並、茎数は平年よりやや少ない状況。 (松本県農業支援センター技術経営普及課 6月22日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大坂管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成である。近年、高産性種に変わった「あきつゆ」の導入を推奨している。
滋賀	【水稲作況調査(6月20日時点)による】 ・草丈は「みずかがみ」「コシヒカリ」とともに平年並であった。 ・茎数は「みずかがみ」「コシヒカリ」とともに平年より少なかった。 ・葉色は「みずかがみ」は平年並、「コシヒカリ」はやや濃かった。 ・葉数は「みずかがみ」「コシヒカリ」とともに平年並であった。 ・6月26日現在、「みずかがみ」「コシヒカリ」は幼穂形成期(幼穂1.0mm)に達していないが平年並の時期となる見込み。 (滋賀県農業技術普及センター 6月8日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大坂管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大坂管区気象台)	・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高産性種に変わった「みずかみ」の作付が促進されている。
兵庫	【5月29日時点】 (県 北) 移植後、気温の高低差が大きいもの、本田での生育は順調である。 (県 南) 現在、苗の生育は順調である。	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大坂管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大坂管区気象台)	・「コシヒカリ」、「ヒノヒカリ」、「日本晴」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推奨している。
岡山	・播種早生の生育は概ね平年並である。 (岡山県 6月28日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台) 中国地方は6月25日頃からかなりの高温。 (広島地方気象台)	・「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」、「あきこまち」及び「ヒノヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広島	【6月20日調査】広島県総合技術研究所農業技術センター圃場(東広島市八本町町) ()内は平年値 ・「コシヒカリ」(密植) 草丈:39.2(40.3)cm、茎数:437(405)本/m ² 、葉色(SPAD値)42.2(40.7)、葉齢7.8(8.4) ・「あきまらん」(密植) 草丈:34.7(35.0)cm、茎数:488(424)本/m ² 、葉色(SPAD値)41.6(39.0)、葉齢8.6(8.6) ・「ヒノヒカリ」(密植) 草丈:34.2(33.7)cm、茎数:422(416)本/m ² 、葉色(SPAD値)40.2(40.4)、葉齢7.5(8.5) ・「恋の予感」(普通植) 草丈:39.1cm、茎数:227本/m ² 、葉色(SPAD値)41.4、葉齢8.5 ・「あきさかり」(普通植) 草丈:36.5cm、茎数:308本/m ² 、葉色(SPAD値)45.1、葉齢8.5 (広島県総合技術研究所農業技術センター 6月23日付)	【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台) 中国地方は6月25日頃からかなりの高温。 (広島地方気象台)	・「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。

(生育状況等)			
愛 媛	<p>【2023年度「ひめの涙」の生育状況（6月26日現在）】</p> <p>(5月22日移植 6月21日調査) ・草丈(cm) 32.0、茎数(本/m) 318、一株あたり茎数(本/株) 21.0、葉色(SPAD値) 35.4</p> <p>(6月1日移植 6月28日調査) ・草丈(cm) 28.9、茎数(本/m) 189、一株あたり茎数(本/株) 12.5、葉色(SPAD値) 39.2</p> <p>(愛媛県農林水産研究所 6月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月7月7日～7月14日、ヒメトビウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月14日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。</p>
高 知	<p>【5月月報】</p> <p>(早期稲) 分けつ期 時期：並 ・夜温がやや低めで経過した時期があったことから、分けつ数はやや少ないが、概ね順調に経過している。</p> <p>(普通期稲) 育苗期～活着期 時期：並 ・移植は5月10日頃から始まり、最盛期は5月下旬でほぼ平年並になる見込みである。 ・一部で育苗期間中に苗の発生が報告されている。移植後の生育は概ね順調である。</p> <p>(高知県病害虫防除所 6月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月7月7日～7月14日、ヒメトビウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月14日付)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
福 岡	<p>【6月15日現在】</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、コシヒカリ) ・田植え後、多雨の影響により、草丈は平年よりやや高く、茎数は少ない。ウンカ類の発生は確認されていない。 ・4月下旬稲刈の出穂期は7月中旬頃で、平年よりやや遅くなる見込み。</p> <p>【普通期水稲】(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) ・苗の生育は概ね順調。育苗期の不安定な天候により、一部で軟弱苗や病気の発生が早られる。 ・現在、収穫後のほ場でも田植えが始まり、平地地の「夢つくし」は6月上旬中、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月7月7日～7月14日、ヒメトビウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月14日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加している。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。</p>
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」を中心とする品種構成である。はりーデイング品種として取扱いが年々拡大している。</p>
宮 崎	<p>【作物の生育状況（5月中旬）】</p> <p>早期水稲は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みか338」への作付誘導が進められている。</p>
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月1日～7月30日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早稲栽培では、収穫水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</p>

注1：調査日及び調査内容、調査機関等がホームページで公表している資料と異なる場合は、本表を最新情報で取り直します。
注2：令和5年6月30日 10時時点での取り直します。
注3：更新箇所は赤字で示します。

引用資料:

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道農政部 6月21日)、
農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月21日)、
農作物生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月21日)、
農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月21日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月21日)、
水稲作況調査(6月20日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月20日)、
令和5年度産岩手県内の水稲の生育概況(6月26日現在速報)(岩手県 6月27日)、
令和5年度産水稲の生育状況について(6月20日現在)(宮城県みやぎ米推進課生産販売班 6月21日)、
令和5年稲作情報第3号(宮城県亘理農業改良普及センター 6月21日)、
登米地域の稲作通信第4号(宮城県登米農業改良普及センター 6月21日)、
稲作情報(Vol.4)(宮城県石巻農業改良普及センター 6月21日)、
令和5年度産気仙沼・南三陸稲作情報第3号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月16日)
令和5年度産仙南稲作情報(第2号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月22日)、
令和5年度産美里地区の稲作情報第4号(宮城県美里農業改良普及センター 6月20日)、
栗原の稲作通信令和5年4号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月21日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月30日閲覧)、
当面の技術対策(7月)(山形県農林水産部 6月23日)、
2023年水稲作柄解析試験における生育状況(福島県農業総合センター 6月9日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月21日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月28日)、
水稲生育診断速報No.3(栃木県農政部経営技術課 6月23日)、
水稲の生育と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月28日)、
稲作速報No.4(新潟農業普及指導センター 6月29日)、
水稲生育速報No.4(巻農業普及指導センター 6月29日)、
FAX稲作情報No.6(三条農業普及指導センター 6月29日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月29日)、
コシヒカリ生育情報第4号(魚沼農業普及指導センター 6月29日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.3(6月29日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月29日)、
令和5年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報No.4(糸魚川農業普及指導センター 6月29日)、
TACS情報第5号(富山県 6月27日)、
令和5年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月9日)、
稲作情報No.8(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月26日)、
令和5年度作物技術普及情報第9号(松本農業農村支援センター 6月22日)、
令和5年度産水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月26日)、
令和5年度産兵庫農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県農林水産部 6月5日)、
令和5年度産病害虫発生予報第4号(岡山県 6月28日)、
水稲生育状況(令和5年6月20日現在)(広島県立総合技術研究所農業技術センター 6月23日)、
2023年度産「ひめの凛」の生育状況(6月26日現在)(愛媛県農林水産研究所 6月28日)、
病害虫発生予察情報について 令和5年度産病害虫発生予察5月月報(高知県病害虫防除所 6月5日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(令和5年6月15日現在)(福岡県農林業総合試験場 6月22日)、
令和5年度産病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月24日)、

北海道地方方向こう1か月の天候の見通し(6月29日札幌管区气象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(6月29日仙台管区气象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(6月29日気象庁)
北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(6月29日新潟地方气象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(6月29日大阪管区气象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(6月29日広島地方气象台)
四国地方方向こう1か月の天候の見通し(6月29日高松地方气象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(6月29日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(6月29日鹿児島地方气象台)、

北海道地方方向こう3か月の天候の見通し(6月20日札幌管区气象台)、東北地方方向こう3か月の天候の見通し(6月20日仙台管区气象台)、関東甲信地方方向こう3か月の天候の見通し(6月20日気象庁)
北陸地方方向こう3か月の天候の見通し(6月20日新潟地方气象台)、近畿地方方向こう3か月の天候の見通し(6月20日大阪管区气象台)、中国地方方向こう3か月の天候の見通し(6月20日広島地方气象台)
四国地方方向こう3か月の天候の見通し(6月20日高松地方气象台)、九州北部地方方向こう3か月の天候の見通し(6月20日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方方向こう3か月の天候の見通し(6月20日鹿児島地方气象台)、

早期天候情報(6月29日14時30分 気象庁)、
エルニーニョ監視速報(No.369)について(気象庁 6月9日)、

「令和5年度産病害虫発生予報第3号」(農林水産省 6月14日)、
令和5年度産水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月15日)